

工事等成績評定表(建築工事)

年 月 日 作成

担当課:

工事名		契約金額(最終)										年 月 日 ~ 年 月 日																						
受注者名		工期										年 月 日 ~ 年 月 日																						
随時検査		完成年月日										年 月 日																						
項目	細別	監督職員					係長等職員					検査員(完成)					検査員(随時1回)					検査員(随時2回)												
		氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名								
		a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e
1. 施工体制	I 施工体制一般	1	0.5	0	-5	-10																												
	II 配置技術者	3	1.5	0	-5	-10																												
2. 施工状況	I 施工管理	4	2	0	-5	-10								5		2.5		0	-7.5	-15	5		2.5		0	-7.5	-15	5		2.5		0	-7.5	-15
	II 工程管理	4	2	0	-5	-10	2		1		0	-7.5	-15																					
	III 安全対策	5	2.5	0	-5	-10	3		1.5		0	-7.5	-15																					
	IV 対外関係	2	1	0	-2.5	-5																												
3. 出来形 及び 出来ばえ	I 出来形	4	2	0	-2.5	-5								10	7.5	5	2.5	0	-10	-20	10	7.5	5	2.5	0	-10	-20	10	7.5	5	2.5	0	-10	-20
	II 品質	5	2.5	0	-2.5	-5								15	12	7.5	4	0	-12.5	-25	15	12	7.5	4	0	-12.5	-25	15	12	7.5	4	0	-12.5	-25
	III 出来ばえ													5		2.5		0	-5		5		2.5		0	-5		5		2.5		0	-5	
4. 工事特性	I 施工条件等への対応(※2)						点																											
5. 創意工夫	I 創意工夫(※3)						点																											
6. 社会性等	I 地域への貢献等(※4)						10	7.5	5	2.5	0																							
加減点合計(1+2+3+4+5+6)		点					点					点					点																	
評定点(※1)		① 点					② 点					③ 点					④ 点					⑤ 点												
評定点計(※5)		点					○随時検査 なし ① 点 × 0.4 + ② 点 × 0.2 + ③ 点 × 0.4 = 点 ○随時検査 1回 ① 点 × 0.4 + ② 点 × 0.2 + ③ 点 × 0.2 + ④ 点 × 0.2 = 点 ○随時検査 2回 ① 点 × 0.4 + ② 点 × 0.2 + ③ 点 × 0.2 + { (④ + ⑤) ÷ 2 } 点 × 0.2 = 点																											
7. 法令遵守等(※6)		点					点					点					点																	
評定点合計(※7)		点					点					点					点																	
所見(※8)		係長等職員																																
		監督職員																																
		検査員																																

※1 65点+加減点合計(1+2+3+4+5+6)とする。

各評定点(①~⑤)は少数第1位まで記入する。

※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造物の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。

評価に際しては、監督職員からの報告を受けて係長等職員が評価するものとする。

※3 創意工夫は、工事特性のような難度を伴わない工事において、企業の工夫やノウハウにより特筆すべき便益があった場合に評価する項目である。

※4 社会性等の評価では地域への貢献等の観点から、加減点のみとする。

※5 随時検査があった場合: (① 点×0.4+② 点×0.2+③ 点×0.2) = 点 ※ただし、随時検査が2回以上の場合は平均値

※6 法令遵守等は減点評価のみとし、評価は係長等職員が評価するものとする。

※7 評定点合計は、四捨五入により整数とする。

※8 所見欄には評定結果の概要を記載する。

※9 各検査項目ごとの採点は、検査項目別運用表(建築工事)によるものとする。

細目別評定点採点表(建築工事)

考查項目	細別	①監督職員	②係長等職員	③検査員(完成)	④検査員(随時1回)	⑤検査員(随時2回)	細目別評定点
1. 施工体制	I. 施工体制一般	() × 0.4 + 2.9 = 点					点 3.3点
	II. 配置技術者	() × 0.4 + 2.9 = 点					点 4.1点
2. 施工状況	I. 施工管理	() × 0.4 + 2.9 = 点		() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	点 13.0点
	II. 工程管理	() × 0.4 + 2.9 = 点	() × 0.2 + 3.2 = 点				点 8.1点
	III. 安全対策	() × 0.4 + 2.9 = 点	() × 0.2 + 3.3 = 点				点 8.8点
	IV. 対外関係	() × 0.4 + 2.9 = 点					点 3.7点
3. 出来形及び 出来ばえ	I. 出来形	() × 0.4 + 2.8 = 点		() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	点 14.9点
	II. 品質	() × 0.4 + 2.9 = 点		() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	点 17.4点
	III. 出来ばえ			() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	() × 0.4 + 6.5 = 点	点 8.5点
4. 工事特性	I. 施工条件等への対応		() × 0.2 + 3.3 = 点				点 7.3点
5. 創意工夫	I. 創意工夫	() × 0.4 + 2.9 = 点					点 5.7点
6. 社会性等	I. 地域への貢献等		() × 0.2 + 3.2 = 点				点 5.2点
7. 法令遵守等			() × 1.0 = 点				
評定点合計							点 100.0点

※随時検査がなかった場合

$$\textcircled{1} + \textcircled{2} + \textcircled{3} = \text{細目別評定点}$$

※随時検査が1回あった場合

$$\textcircled{1} + \textcircled{2} + (\textcircled{3} + \textcircled{4}) \times 0.5 = \text{細目別評定点}$$

※随時検査が2回あった場合

$$\textcircled{1} + \textcircled{2} + \{ \textcircled{3} + (\textcircled{4} + \textcircled{5}) \div 2 \} \times 0.5 = \text{細目別評定点}$$

考查項目別運用表(建築工事)

考查項目	細別	評価対象項目
1. 施工体制	I. 施工体制一般	<input type="checkbox"/> 作業分担の範囲が、下請業者を含め、書面に明確に記載されている。 <input type="checkbox"/> 品質管理体制が、書面に適切に記載されている。 <input type="checkbox"/> 安全管理体制が、書面に適切に記載されている。 <input type="checkbox"/> 現場の施工体制(品質管理、安全管理を含む)が、書面と一致している。 <input type="checkbox"/> 工事規模に応じた人員、機械配置がなされ施工している。 <input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度(建退共)の趣旨を下請業者等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受け払い簿等により適切に把握されている。 <input type="checkbox"/> 元請業者が、下請業者の施工結果を十分に検査している。 <input type="checkbox"/> 現場における施工体制に対し、本支店等による十分な支援体制を整え実施している。 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックリストのうち、施工体制一般について、指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 <input type="checkbox"/> 工事カルテの登録は、監督職員の確認を受けた上で所定の期間内に行われている。 <input type="checkbox"/> その他 理由: (減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評価		
a: 施工体制が優れている。 b: 施工体制が良好である。 c: 施工体制が適切である。 d: 施工体制がやや不適切である。 e: 施工体制が不適切である。		
該当項目が90%以上 該当項目が80%以上90%未満 該当項目が60%以上80%未満 該当項目が60%未満	→a →b →c →d	① ■ = 合格項目、□ = 不合格項目、- = 評価対象外項目 ※□と■は総称して評価対象項目 ② 評価対象項目のうち、対象としない項目は「□」をダブルクリック×2回で「-」にする。 ③ 評価対象外項目のある場合はこれを除外した評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 合格項目数(「■」の数) / 評価対象項目数(「□」と「■」を合わせた数)
	評価	

考查項目別運用表(建築工事)

考查項目	細別	評価対象項目
1. 施工体制	Ⅱ. 配置技術者 (現場代理人等)	<input type="checkbox"/> 現場代理人として、工事全体の把握ができています。 <input type="checkbox"/> 現場代理人として、監督職員への報告、協議等を書面で行っている。 <input type="checkbox"/> 契約書、設計図書等を理解し、現場に反映して工事を行っている。 <input type="checkbox"/> 工事請負契約書第18条(条件変更等)第1項(以下、「契約書第18条」という。)に基づく設計図書の照査を行っている。 <input type="checkbox"/> 書類及び資料が適切に整理されている。 <input type="checkbox"/> 作業環境、気象、地質条件等の把握及び対応に努めている。 <input type="checkbox"/> 工事に必要な専門技術者を選任し、配置している。 <input type="checkbox"/> 作業に必要な作業主任者を選任し、配置している。 <input type="checkbox"/> 主任(監理)技術者として技術的判断に優れ、良好な施工に努めている。 <input type="checkbox"/> 施工体制、施工状況を把握し、下請け、部下等をよく指導している。 <input type="checkbox"/> 施工等に伴う提案又は工夫をもって工事を進めている。 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックリストのうち、配置技術者(現場代理人/監理技術者/主任技術者)について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由: (減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評価		
a: 配置技術者として優れている。 b: 配置技術者として良好である。 c: 配置技術者として適切である。 d: 配置技術者としてやや不適切である。 e: 配置技術者として不適切である。		
該当項目が90%以上 該当項目が80%以上90%未満 該当項目が60%以上80%未満 該当項目が60%未満	→a →b →c →d	① ■ = 合格項目、□ = 不合格項目、- = 評価対象外項目 ※□と■は総称して評価対象項目 ② 評価対象項目のうち、対象としない項目は「□」をダブルクリック×2回で「-」にする。 ③ 評価対象外項目のある場合はこれを除外した評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 合格項目数(「■」の数) / 評価対象項目数(「□」と「■」を合わせた数)
	評価	

※1. 建築一式工事を施工する場合において、一式工事の内容である他の建設工事(専門工事)を自ら施工する時は、当該専門工事に関し資格を有する者を置くものとする。なお、主任技術者が当該専門工事の資格を有していれば、専門技術者を兼ねることができる。

※2. 作業主任者を選任すべき作業は、労働安全衛生法施行令第6条による。

考查項目別運用表(建築工事)

考查項目	細別	評価対象項目
2. 施工状況	I. 施工管理	<input type="checkbox"/> 契約書第18条に基づく設計図書の照査結果について、協議を行っている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が、工事着手前(計画内容に変更が生じた場合を含む)に提出されている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に、出来形・品質確保のための記載がある。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に基づき、出来形・品質の管理を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 施工図作成にあたり、関連工事と遅滞なく、調整が十分に図られている。 <input type="checkbox"/> 工事打合せ書等の工事記録の整備が、適時に行われている。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致している。 <input type="checkbox"/> 一工程の施工の検査・確認の報告が、適時に行われている。 <input type="checkbox"/> 現場内での整理整頓が、常時行われている。 <input type="checkbox"/> 使用する建築材料(以下「材料」という。)・設備機材(以下「機材」という。)の調達の計画及び搬入後の管理が適切である。 <input type="checkbox"/> 社内検査が計画的に行われている。 <input type="checkbox"/> 独自のチェックリスト等の管理基準により、管理されている。 <input type="checkbox"/> 低騒音、低振動及び排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 <input type="checkbox"/> 建設廃棄物の処分及び建設副産物のリサイクルへの取り組みが、適切に行われている。 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックリストのうち、施工管理について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由: (減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評価		
a: 施工管理が優れている。 b: 施工管理が良好である。 c: 施工管理が適切である。 d: 施工管理がやや不適切である。 e: 施工管理が不適切である。		
該当項目が90%以上 該当項目が80%以上90%未満 該当項目が60%以上80%未満 該当項目が60%未満	→a →b →c →d	① ■ = 合格項目、□ = 不合格項目、- = 評価対象外項目 ※□と■は総称して評価対象項目 ② 評価対象項目のうち、対象としない項目は「□」をダブルクリック×2回で「-」にする。 ③ 評価対象外項目のある場合はこれを除外した評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 合格項目数(「■」の数) / 評価対象項目数(「□」と「■」を合わせた数)
	評価	

考查項目別運用表(建築工事)

考查項目	細別	評価対象項目
2. 施工状況	II. 工程管理	<input type="checkbox"/> 実施工程表が工事着手前に提出され、関連工事との調整も適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 現場での工程管理を詳細工程表やパソコン等を用いて日常的に把握している。 <input type="checkbox"/> 工程のフォローアップを実施し、受注者の責により関連工事及び入居官署等に対し、影響を及ぼす工程の遅れがない。 <input type="checkbox"/> 現場または施工条件の変更への対応が積極的で、処理が早い。 <input type="checkbox"/> 工程に関する各種制約等があるにもかかわらず、工期内にスムーズに作業を行っている。 <input type="checkbox"/> 受注者の責による夜間や休日の作業がない。 <input type="checkbox"/> 休日・代休の確保を行っている。 <input type="checkbox"/> 近隣住民(入居官署等を含む)との調整を積極的に行い、円滑な工事進捗を行っている。 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由: (減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評価		
a: 工程管理が優れている。 b: 工程管理が良好である。 c: 工程管理が適切である。 d: 工程管理がやや不適切である。 e: 工程管理が不適切である。		
該当項目が90%以上 該当項目が80%以上90%未満 該当項目が60%以上80%未満 該当項目が60%未満	→a →b →c →d	① ■ = 合格項目、□ = 不合格項目、- = 評価対象外項目 ※□と■は総称して評価対象項目 ② 評価対象項目のうち、対象としない項目は「□」をダブルクリック×2回で「-」にする。 ③ 評価対象外項目のある場合はこれを除外した評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 合格項目数(「■」の数) / 評価対象項目数(「□」と「■」を合わせた数)
	評価	

考查項目別運用表(建築工事)

考查項目	細別	評価対象項目
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	<input type="checkbox"/> 災害防止(工事安全)協議会等を設置し、1回/月以上活動し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 店社/パトロールを1回/月以上実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 各種安全パトロールで指摘を受けた事項について、速やかに改善を図り、かつ関係者に是正指示している。 <input type="checkbox"/> 安全教育・安全訓練等を適時適切に実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 安全巡視、TBM、KY等を実施し、記録を整備している。 <input type="checkbox"/> 新規入場者教育を実施し、記録が整備されている。 <input type="checkbox"/> 現場の各工程において適時適切に、安全管理の措置をしている。 <input type="checkbox"/> 重機操作に際して、誘導員配置や重機と人の行動範囲の分離措置がなされている。 <input type="checkbox"/> 山留め等について、設置後の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> 仮設工事において、設置完了時や使用中の点検及び管理がチェックリスト等を用いて実施されている。 <input type="checkbox"/> 使用機械、工具等の点検整備等がなされ、十分に管理されている。 <input type="checkbox"/> 工事現場における保安設備等の設置・管理が適切であり、よく整備されている。 <input type="checkbox"/> 過積載防止に十分に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックリストのうち、安全対策について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由: (減点)該当すればc評価とする。 <input type="checkbox"/> 安全対策に関して、法令遵守の措置内容に該当する場合。 (減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 安全管理に対して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 安全管理に対して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評価		
a: 安全対策が優れている。 b: 安全対策が良好である。 c: 安全対策が適切である。 d: 安全対策がやや不適切である。 e: 安全対策が不適切である。		
該当項目が90%以上 該当項目が80%以上90%未満 該当項目が60%以上80%未満 該当項目が60%未満	→a →b →c →d	① ■ = 合格項目、□ = 不合格項目、- = 評価対象外項目 ※□と■は総称して評価対象項目 ② 評価対象項目のうち、対象としない項目は「□」をダブルクリック×2回で「-」にする。 ③ 評価対象外項目のある場合はこれを除外した評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 合格項目数(「■」の数) / 評価対象項目数(「□」と「■」を合わせた数)
	評価	

考查項目別運用表(建築工事)

考查項目	細別	評価対象項目
2. 施工状況	IV. 対外関係	<input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、関係官公署等の関係機関と協議及び調整を行い、トラブルの発生が少ない。 <input type="checkbox"/> 工事施工にあたり、近隣住民(入居官署等を含む)と適切に協議及び調整を行っている。 <input type="checkbox"/> 引渡し時に入居官署に対し、保守管理について適切な説明を行っている。 <input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。 <input type="checkbox"/> 近隣住民(入居官署等を含む)対策を実施し、苦情がない。または苦情に対して適切な対応を行い、以後のトラブルがない。 <input type="checkbox"/> 現場のイメージアップに、取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」チェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。または指示事項に対する改善が速やかに実施されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由: (減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評価		
a: 対外関係が優れている。 b: 対外関係が良好である。 c: 対外関係が適切である。 d: 対外関係がやや不適切である。 e: 対外関係が不適切である。		
該当項目が90%以上 該当項目が80%以上90%未満 該当項目が60%以上80%未満 該当項目が60%未満	→a →b →c →d	① ■ = 合格項目、□ = 不合格項目、- = 評価対象外項目 ※□と■は総称して評価対象項目 ② 評価対象項目のうち、対象としない項目は「□」をダブルクリック×2回で「-」にする。 ③ 評価対象外項目のある場合はこれを除外した評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 合格項目数(「■」の数) / 評価対象項目数(「□」と「■」を合わせた数)
	評価	

考查項目別運用表(建築工事)

考查項目	細別	評価対象項目
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	<input type="checkbox"/> 承諾図等が、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> 施工図等が、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> 現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工である。 <input type="checkbox"/> 施工計画書等で定めた出来形の管理基準に基づき、管理している。 <input type="checkbox"/> 出来形の管理記録が適切にまとめられており、結果が良好である。 <input type="checkbox"/> 出来形の管理方法を工夫している。 <input type="checkbox"/> 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により確認できる。 ※解体工事については、以下の6項目を評価対象項目とする。 <input type="checkbox"/> 指定仮設の設置範囲及び仕様等が設計図書を満足し、適切な施工である。 <input type="checkbox"/> 撤去対象物の範囲等が設計図書を満足し、適切な施工である。 <input type="checkbox"/> 整地の範囲及び仕様等が設計図書を満足し、適切な施工である。 <input type="checkbox"/> 分別解体等の方法等が設計図書を満足し、適切な施工である。 <input type="checkbox"/> 各施工段階ごとの工事の記録が、工事写真、施工記録等により確認できる。 <input type="checkbox"/> 建設廃棄物が、全て適切に処分されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由： (減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 出来形の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 工事請負契約書第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。
評価		
a: 出来形が優れている。 b: 出来形が良好である。 c: 出来形が適切である。 d: 出来形がやや不適切である。 e: 出来形が不適切である。		
該当項目が90%以上 該当項目が80%以上90%未満 該当項目が60%以上80%未満 該当項目が60%未満	→a →b →c →d	① ■ = 合格項目、□ = 不合格項目、- = 評価対象外項目 ※□と■は総称して評価対象項目 ② 評価対象項目のうち、対象としない項目は「□」をダブルクリック×2回で「-」にする。 ③ 評価対象外項目のある場合はこれを除外した評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 合格項目数(「■」の数) / 評価対象項目数(「□」と「■」を合わせた数)
評価		

※1. 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。

考查項目別運用表(建築工事)

考查項目	細別	評価対象項目
3. 出来形及び出来ばえ	II.品質 建築工事	<input type="checkbox"/> 材料・製品の品質が、制作図等により確認でき、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> 品質確認記録の内容が、適切である。 <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の、品質が適切である。
	工事比率	<input type="checkbox"/> 躯体工事における施工の品質が、良好である。 <input type="checkbox"/> 内外仕上げ工事における施工の品質が、良好である。
		<input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由:
評価		
a: 品質が優れている。 b: 品質が良好である。 c: 品質が適切である。 d: 品質がやや不適切である。 e: 品質が不適切である。		
該当項目が90%以上 →a 該当項目が80%以上90%未満 →b 該当項目が60%以上80%未満 →c 該当項目が60%未満 →d	① ■ = 合格項目、□ = 不合格項目、- = 評価対象外項目 ※□と■は総称して評価対象項目 ② 評価対象項目のうち、対象としない項目は「□」をダブルクリック×2回で「-」にする。 ③ 評価対象外項目のある場合はこれを除外した評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 合格項目数(「■」の数) / 評価対象項目数(「□」と「■」を合わせた数)	
暫定評価	評価値	

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. 1つの工事の中に建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等の工種が2以上複合している工事については、原則として、それぞれの工事毎に評価し 工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。ただし、その工事について複合している工種のうち、規模が小さく評定に影響を与えない工種については、この限りでない。(例:改修工事等において含まれる軽微な附帯する工種)

考査項目別運用表(建築工事)

考査項目	細別	評価対象項目
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	<input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> 品質確認記録の内容が、適切である。 <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切である。 <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> 機材及び施工の品質が、良好である。 <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由:
	電気設備工事	
	受変電設備工事	
	工事比率	
評価		
a: 品質が優れている。 b: 品質が良好である。 c: 品質が適切である。 d: 品質がやや不適切である。 e: 品質が不適切である。		
該当項目が90%以上	→a	① ■ = 合格項目、□ = 不合格項目、- = 評価対象外項目 ※□と■は総称して評価対象項目 ② 評価対象項目のうち、対象としない項目は「□」をダブルクリック×2回で「-」にする。 ③ 評価対象外項目のある場合はこれを除外した評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 合格項目数(「■」の数) / 評価対象項目数(「□」と「■」を合わせた数)
該当項目が80%以上90%未満	→b	
該当項目が60%以上80%未満	→c	
該当項目が60%未満	→d	
暫定評価		評価値

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. 1つの工事の中に建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等の工種が2以上複合している工事については、原則として、それぞれの工事毎に評価し 工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。ただし、その工事について複合している工種のうち、規模が小さく評定に影響を与えない工種については、この限りでない。(例:改修工事等において含まれる軽微な附帯する工種)

考查項目別運用表(建築工事)

考查項目	細別	評価対象項目
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質	<input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> 品質確認記録の内容が、適切である。 <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の方法が、適切である。 <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足している。 <input type="checkbox"/> 機材及び施工の品質が、良好である。 <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由:
	暖冷房衛生設備	
	工事	
	機械設備工事	
	工事比率	
評価		
a: 品質が優れている。 b: 品質が良好である。 c: 品質が適切である。 d: 品質がやや不適切である。 e: 品質が不適切である。		
該当項目が90%以上	→a	① ■ = 合格項目、□ = 不合格項目、- = 評価対象外項目 ※□と■は総称して評価対象項目 ② 評価対象項目のうち、対象としない項目は「□」をダブルクリック×2回で「-」にする。 ③ 評価対象外項目のある場合はこれを除外した評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 合格項目数(「■」の数) / 評価対象項目数(「□」と「■」を合わせた数)
該当項目が80%以上90%未満	→b	
該当項目が60%以上80%未満	→c	
該当項目が60%未満	→d	
暫定評価		評価値

※1. 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。

※2. 目的物の品質の水準を評価すること。

※3. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※4. 1つの工事の中に建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等の工種が2以上複合している工事については、原則として、それぞれの工事毎に評価し 工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。ただし、その工事について複合している工種のうち、規模が小さく評定に影響を与えない工種については、この限りでない。(例:改修工事等において含まれる軽微な附帯する工種)

考査項目別運用表(建築工事)

考査項目	細別	評価対象項目
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質 解体工事	<input type="checkbox"/> 建設廃棄物の処分記録の内容が、適切である。 <input type="checkbox"/> 各施工段階毎の施工状況が施工計画書毎に基づき、適切である。 <input type="checkbox"/> 整地等における施工の品質が、良好である。
	工事比率	<input type="checkbox"/> 各施工段階毎に施工品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されている。 <input type="checkbox"/> 解体施工等において、品質確保のための工夫をしている。
		<input type="checkbox"/> 不可視部分が段階確認等で適切に行われていることが確認でき、写真記録等も整備されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由:
評価		
a: 品質が優れている。 b: 品質が良好である。 c: 品質が適切である。 d: 品質がやや不適切である。 e: 品質が不適切である。		
該当項目が90%以上	→a	① ■ = 合格項目、□ = 不合格項目、- = 評価対象外項目 ※□と■は総称して評価対象項目 ② 評価対象項目のうち、対象としない項目は「□」をダブルクリック×2回で「-」にする。 ③ 評価対象外項目のある場合はこれを除外した評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 合格項目数(「■」の数) / 評価対象項目数(「□」と「■」を合わせた数)
該当項目が80%以上90%未満	→b	
該当項目が60%以上80%未満	→c	
該当項目が60%未満	→d	
暫定評価		評価値

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. 1つの工事の中に建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等の工種が2以上複合している工事については、原則として、それぞれの工事毎に評価し 工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。ただし、その工事について複合している工種のうち、規模が小さく評定に影響を与えない工種については、この限りでない。(例:改修工事等において含まれる軽微な附帯する工種)

最終評価	
------	--

最終評価値	
-------	--

$$= (1) \text{評価値} \times (1) \text{工事比率} + (2) \text{評価値} \times (2) \text{工事比率} + (3) \text{評価値} \times (3) \text{工事比率} + (4) \text{評価値} \times (4) \text{工事比率}$$

該当項目が90%以上	→a
該当項目が80%以上90%未満	→b
該当項目が60%以上80%未満	→c
該当項目が60%未満	→d

(減点)建築工事・電気設備等工事・暖冷房衛生設備等工事・解体工事のうち、いずれか1つでも該当すればd評価とする。

品質の管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。

(減点)建築工事・電気設備等工事・暖冷房衛生設備等工事・解体工事のうち、いずれか1つでも該当すればe評価とする。

工事請負契約書第17条に基づき監督職員が改造請求を行った。

考查項目別運用表(建築工事)

考查項目・細別	評価対象項目
5. 創意工夫 <ul style="list-style-type: none"> ■準備・後片付け関係 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 測量・位置出しにおける工夫 <input type="checkbox"/> 現地調査方法の工夫 <input type="checkbox"/> その他 理由: <p>詳細評価内容:</p>
<ul style="list-style-type: none"> ■施工関係 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 施工に伴う器具・工具・装置類の工夫 <input type="checkbox"/> 工場加工製品等の活用による副産物及び廃棄物の減少またはリサイクルに対する積極的な取り組み <input type="checkbox"/> 土工事、地業工事、鉄骨立て方、コンクリート工事等の施工関係の工夫 <input type="checkbox"/> 建築材料・機材等の運搬・搬入等を含む施工方法の工夫 <input type="checkbox"/> 電気設備工事等の配線、配管等の工夫 <input type="checkbox"/> 暖冷房衛生設備工事等の配管、ダクト等の工夫 <input type="checkbox"/> 照明・視界確保等の工夫 <input type="checkbox"/> 仮排水、仮道路、迂回路等の計画・施工の工夫 <input type="checkbox"/> 運搬車両・施工機械等の工夫 <input type="checkbox"/> 型枠、足場、山留め等の仮設関係の工夫 <input type="checkbox"/> 施工管理及び品質向上等の工夫 <input type="checkbox"/> プレハブ工法等の採用による工期短縮等の工夫 <input type="checkbox"/> 仮設施工等の工夫 <input type="checkbox"/> 既存施設・近隣等に対する騒音・振動対策等の工夫 <input type="checkbox"/> 保全への配慮による材料選定・施工方法等の工夫 <input type="checkbox"/> 作業の安全性向上のための施工方法等の工夫 <input type="checkbox"/> その他 理由: <p>詳細評価内容:</p>
<ul style="list-style-type: none"> ■品質関係 	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 集計ソフト等の活用と工夫 <input type="checkbox"/> 躯体工事の品質管理の工夫 <input type="checkbox"/> 建築材料・機材の検査・試験に関する工夫 <input type="checkbox"/> 施工の検査・試験に関する工夫 <input type="checkbox"/> 品質記録方法の工夫 <input type="checkbox"/> その他 理由: <p>詳細評価内容:</p>

考查項目別運用表(建築工事)

考查項目・細別	評価対象項目
5. 創意工夫 <ul style="list-style-type: none"> ■安全衛生関係 ■施工管理関係 ■その他 	<div style="border-bottom: 1px solid black; padding-bottom: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 安全仮設備等の工夫(落下物、墜落・転落、挟まれ、看板、立入禁止柵、手摺り、足場等) <input type="checkbox"/> 安全衛生教育、技術向上講習会等、ミーティング、安全パトロール等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 現場事務所、休憩所等の環境向上の工夫 <input type="checkbox"/> 酸欠対策・有毒ガス・可燃ガスの処理または粉塵防止策や作業中の換気等の工夫 <input type="checkbox"/> 周辺道路等の事故防止または一般交通確保等のための工夫 <input type="checkbox"/> 改修工事における既存施設利用者等に対する安全対策の工夫 <input type="checkbox"/> 作業時における作業環境改善等の工夫 <input type="checkbox"/> ゴミの減量化、アイドリングストップ励行等の地球環境への工夫 <input type="checkbox"/> その他 理由: </div> <div style="border-bottom: 1px solid black; padding: 5px 0 5px 20px;"> 詳細評価内容: </div> <div style="border-bottom: 1px solid black; padding: 5px 0 5px 20px;"> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 出来形の管理等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 施工計画書または写真記録等に関する工夫 <input type="checkbox"/> 出来形・品質に関する計測等の工夫及び集計の工夫 <input type="checkbox"/> CAD、施工管理ソフト等の活用 <input type="checkbox"/> その他 理由: </div> <div style="border-bottom: 1px solid black; padding: 5px 0 5px 20px;"> 詳細評価内容: </div> <div style="border-bottom: 1px solid black; padding: 5px 0 5px 20px;"> <p><新技術活用>※新技術に関する下記3項目での加点は最大4点とする。 ※新技術については京都府を参考にした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> NETIS登録技術のうち、試行技術を活用した。(2点) <input type="checkbox"/> 活用した試行技術が少実績優良技術もしくは、当該工事において発注者による活用効果調査結果の総合評価点が120点以上の場合。(2点) <input type="checkbox"/> NETIS登録技術(試行技術を除く)のうち、『有用とされる技術』を活用するか、『有用とされる技術』以外の技術を活用した結果、当該工事において発注者による活用効果調査の総合評価点が120点以上の場合。(4点) <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> その他 (点) 理由: </div> <div style="padding: 5px 0 5px 20px;"> 詳細評価内容: </div>
評点計= (最大7点)	点

- ※1. 特に評価すべき創意工夫事例を加点評価する。
- ※2. 該当する数と重みを勘案して評価する。1項目1点を目安とするが、項目により2、4点で評価し、最大7点の加点評価とする。
- ※3. 上記の考查項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的内容を記載して加点する。
なお、係長等職員が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。
- ※4. 合格項目「■」とした評価対象項目について、評価内容及び効果があった内容を詳細評価内容欄に記載する。

考查項目別運用表(建築工事)

考查項目	細別	評価対象項目
2. 施工状況	II. 工程管理	<ul style="list-style-type: none"> ● 現場又は施工条件の変更等による工期的な制約がある中で、余裕をもって工事を完成させた。 ● 隣接又は同一現場の他工事等との積極的な工程調整を行い、トラブルを回避した。 ● 近隣住民(入居官署等を含む)調整を積極的に行い、トラブルも少なく、工期内に工事を完成させた。 ● 配置技術者(現場代理人/監理技術者/主任技術者)の積極的な工程管理の姿勢が見られた。 ● その他 理由: <p>詳細評価内容:</p> <p>a: 工程管理が優れている。 b: 工程管理が良好である。 c: 工程管理が適切である。 d: 工程管理がやや不適切である。 e: 工程管理が不適切である。</p> <p>評価選択 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> a b c d e</p> <p>※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。</p> <p>評価</p>
	III. 安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 建設労働災害、公衆災害の防止への努力が顕著である。 ● 安全衛生管理体制を確立し、組織的に取り組んでいる。 ● 安全衛生管理活動が、適切に実施されている。 ● 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んでいる。 ● 安全協議会活動に積極的に取り組んでいる。 ● その他 理由: <p>詳細評価内容:</p> <p>a: 安全対策が優れている。 b: 安全対策が良好である。 c: 安全対策が適切である。 d: 安全対策がやや不適切である。 e: 安全対策が不適切である。</p> <p>評価選択 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> a b c d e</p> <p>※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。</p> <p>評価</p>
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	<ul style="list-style-type: none"> ● 災害時等に地域への救援活動等に協力した。 ● 周辺地域の環境保全、生物保護等について、具体的な対策をした。 ● 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせる等、周辺地域との調和を図った。 ● 広報活動や現場見学会を実施して、地域とのコミュニケーションを図った。 ● 地域イベントへの協力やボランティア活動等への協力や参加をした。 ● その他 理由: <p>詳細評価内容:</p> <p>a: 地域への貢献が優れている。 a': 地域への貢献がやや優れている。 b: 地域への貢献が良好である。 b': 地域への貢献がやや良好である。 c: 他の評価に該当しない。</p> <p>評価選択 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> a a' b b' c</p> <p>※上記評価対象項目のうち、該当項目を総合的に判断して、a、a'、b、b'、c評価を行う。</p> <p>評価</p>

※1. 係長等職員は、監督職員の意見を参考に総合的な評価を行う。

※2. 評価に当たっては評価対象項目の合格項目の数にとらわれず、一項目でも評価する内容が充実している場合は、総合的な視点で判断し評価する。

※3. 地域への貢献とは、工事の施工に伴って、地域社会や住民に対する配慮等の貢献について加点評価する。

※4. 合格項目「■」とした評価対象項目について、評価内容及び効果があった項目を詳細評価内容欄に記載する。

考查項目別運用表(建築工事)

考查項目 (細別)	評価対象項目	
4. 工事特性 (施工条件等への対応)	<p>■建物規模への対応</p>	<p>※下記の対応事項に1つ以上“■”が付けば2点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 延べ面積10,000㎡以上の建物</p> <p><input type="checkbox"/> 地下9階以上又は建物高さ31m以上の建物</p> <p><input type="checkbox"/> 大空間のホール等を有する建物</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由:</p>
	<p>評点＝ 点</p>	<p>詳細評価内容:</p>
	<p>■建物固有の機能の難しさへの対応</p>	<p>※下記の対応事項に1つ以上“■”が付けば2点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 対象建物の耐震レベル</p> <p><input type="checkbox"/> 建物機能の特殊性</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由:</p> <p>[評価技術事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築工事で官庁施設の総合耐震・対津波計画基準においてI類及びA類に属する工事 ・電気又は暖冷房衛生設備工事で官庁施設の総合耐震・対津波計画基準において甲類に属する工事 ・研究施設、美術館等、特殊機能・設備のある建物
	<p>評点＝ 点</p>	<p>詳細評価内容:</p>
	<p>■建物固有の施工技術の難しさへの対応</p>	<p>※下記の対応事項に1つ以上“■”が付けば2点の加点とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 建築材料、設備機材、工法について、提案がある場合【総合評価における技術提案は除く】</p> <p><input type="checkbox"/> 設計条件として、工法、材料、機材及び設備システム(機材を含む)の特殊性</p> <p><input type="checkbox"/> 制約条件等があり、施工難度が特に高い場合</p> <p><input type="checkbox"/> その他 理由:</p> <p>[評価技術事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パイロット工事、又は特異な試験フィールド工事で特許工法等の技術的な検討が必要な工事 ・特殊な工法及び材料等を採用した工事 ・特殊な設備システムを採用した工事 ・免震装置を設ける工事 ・大規模な山留め工法が必要な工事 ・敷地内又は周辺部の工作物、配管・配線等の大規模な移設、切り直しを行う工事 ・仮設備等を設け、システムを停止することなく配管・配線等の大規模な盛替え等を必要とする改修工事
	<p>評点＝ 点</p>	<p>詳細評価内容:</p>

考查項目別運用表(建築工事)

考查項目 (細別)	評価対象項目	
4. 工事特性 (施工条件等への対応)	<p>■厳しい自然・地盤条件への対応</p>	<p>※下記の対応事項に1つ以上“■”が付けば2点の加点とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 湧水の発生、地下水の影響(地盤掘削時) <input type="checkbox"/> 軟弱地盤、支持地盤の影響 <input type="checkbox"/> 雨・雪・風・気温等の影響 <input type="checkbox"/> その他 理由: <p>[評価技術事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地下水位が高く、ウエルポイント等の排水設備が必要な工事 ・液状化対策工法や地盤改良を伴う工事 ・冬期施工のため、大規模な雪寒冬困いをする必要があり、冬期の養生温度の管理や施工スペースの制限を受けた工事
	<p>評点＝ 点</p>	<p>詳細評価内容:</p>
	<p>■厳しい周辺環境、社会条件への対応</p>	<p>※下記の対応事項に1つ以上“■”が付けば2点の加点とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 地中埋設物等の作業障害 <input type="checkbox"/> 工事の影響に配慮すべき建物等の近接物 <input type="checkbox"/> 周辺住民等に対する騒音・振動の配慮 <input type="checkbox"/> 周辺水域環境に対する水質汚濁の配慮 <input type="checkbox"/> その他 理由: <p>[評価技術事例]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工事に支障をきたす地中埋設物、酸欠、有毒・可燃性ガス等の対策が必要な工事 ・工事場所周辺に近接工事があり、困難な調整を要する工事 ・場内に汚水処理装置(水替え)を必要とする工事 ・住居専用地域等で、騒音などの時間規制が条例で定められている工事 ・有線電気通信法による届出が必要なテレビ電波障害対策工事で、困難な調整を行った工事
	<p>評点＝ 点</p>	<p>詳細評価内容:</p>

考查項目別運用表(建築工事)

考查項目 (細別)	評価対象項目	
4. 工事特性 (施工条件等への対応)	■施工現場での対応	※下記の対応事項に1つに“■”が付けば4点の加点とし、最大10点とする。 【長期工事における安全確保への対応】 <input type="checkbox"/> 12ヶ月を超える工期で事故が無く完成した工事(ただし全面一時中止期間は除く) 【災害等での臨機の措置】 <input type="checkbox"/> 地震、台風などにおいて、適切に臨機の対応を行った工事 【施工状況(条件)に対応した施工・工法等】 <input type="checkbox"/> 工事の実施にあたり各種の制約があり、工程的にも特に厳しく、施工の制限を受けた工事 <input type="checkbox"/> 工程上他工事の制約を受け、機械、人員の増強を行った工事 <input type="checkbox"/> 休日・夜間作業が工程の過半を超える工事 <input type="checkbox"/> 施設を使用しながらの工事で、工程的な制約が特に厳しい工事 <input type="checkbox"/> 特に困難な調整を要する他工事(近接工区)の請負者が複数ある工事 <input type="checkbox"/> 外来者の多い施設で、作業範囲内に外来者・通行人等の動線がある工事 <input type="checkbox"/> 特殊な室などで、工種が輻輳し困難な調整を要する工事 <input type="checkbox"/> 施工ヤードが狭く、高さ制限もあり、施工及び機械の移動や旋回等に制約を受けた工事 <input type="checkbox"/> 同一敷地内における施設を使用しながらの建て替え工事で、工程の制約等が特に厳しい工事 <input type="checkbox"/> その他 理由:
	評点= 点	詳細評価内容:
評点計= (最大20点)	点	

- ※1. 工事特性は、最大20点の加点評価とする。
- ※2. 監督職員が評価する「創意工夫」との二重評価は行わない。
- ※3. 評価にあたっては、監督職員の意見も参考に評価する。
- ※4. 合格項目「■」とした評価対象項目について、評価内容を詳細評価内容欄に記載する。

考查項目別運用表(建築工事)

考查項目	法令遵守等の該当項目一覧表	
7. 法令遵守等	点数	措置内容
	<input type="checkbox"/>	該当無し
	<input type="checkbox"/> - 20点	1. 指名停止3ヶ月以上
	<input type="checkbox"/> - 15点	2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満
	<input type="checkbox"/> - 13点	3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満
	<input type="checkbox"/> - 10点	4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満
	<input type="checkbox"/> - 8点	5. 文書注意
	<input type="checkbox"/> - 5点	6. 口頭注意
	<input type="checkbox"/> - 3点	7. 工事関係者事故または公衆災害が発生したが、ヒューマンエラー等軽微であり、口頭注意以上の処分がなかった場合(措置なしとした案件。なお、もらい事故や交通事故は該当しない。)
	- 点	
	<p>① 本考查項目(7. 法令遵守等)で評価する事例は、「工事の施工にあたり、工事関係者が下記の適用事例で上表1から7の措置があった」場合に適用する。</p> <p>② 「工事の施工にあたり」とは、工事請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。</p> <p>③ 「工事関係者」とは、②を履行する工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、受注企業の現場従事職員及び②を履行するために下請契約し、その履行をするために従事する者に限定する。</p> <p>④ 口頭注意未満の処分を受けた後、事故及び災害等において安全対策の改善が見られない場合(監督又は係長等職員からの文書注意、口頭注意等)は、監督又は係長等職員の評価対象項目である安全対策において減点をする。</p> <p>【上記で評価する場合の適用事例】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入札前に提出した調査資料等が虚偽であった事実が判明した。 2. 承諾なしに権利義務等第三者譲渡又は承継を行った。 3. 労働者の寄宿環境等について労働基準法上違反があり、送検等された。 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等、関係法令に違反する事実が判明した。 5. 当該工事関係者が贈収賄等により逮捕または公訴された。 6. 建設業法に違反する事実が判明した 例)一括下請負、技術者の専任違反等 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検等された。 8. 使用人等の就労に関する労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。 9. 監督又は送検の実施にあたり、職務の執行を妨げた。あるいは不当な政治力等の圧力をかけ、妨害した。 10. 下請代金遅延防止法第4条に規定する下請代金の支払いを期日以内に行っていない。あるいは不当に下請代金の額を減じている。あるいはそれに類する行為がある。 11. 過積載等の道路交通法違反により、逮捕又は送検等された。 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」あるいは「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等、暴力団関係者がいることが判明した。 13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは暴力団対策法第9条に記されている、砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、作業員やガードマンの受け入れ、作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。 14. 受注企業及び下請等が暴力団員等による不当介入を受けたが警察等への通報等を怠った。 15. 安全管理の措置が不適切であったために、死傷者を生じさせた工事関係者事故、または重大な損害を与えた公衆災害を起こした。 16. 引き渡し後に事故等が発生し、工事目的物が受注者の責による契約不適合で重大なものであることが判明した。 17. 低コスト調査で虚偽の報告があった。 18. 受注者の責により工期内に工事を完成出来なかった。 19. 受注者が工事請負契約書第7条の2の規定に違反して社会保険等未加入建設業者を下請負人としていることが判明した。 20. その他 理由: 	

考査項目別運用表(建築工事)(完成)

考査項目	細別	評価対象項目
2. 施工状況	I. 施工管理	<input type="checkbox"/> 契約書第18条に基づく設計図書の照査結果を、適切に処理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映した内容となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工計画書に、出来形・品質確保のための記載があり、管理のための方法が確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の記載内容と現場施工方法が、一致していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事記録の整備が、適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 使用する材料、機材の搬入後の管理が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 一工程の施工の確認の報告が、適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 建設廃棄物の処分及び建設副産物等のリサイクルへの取り組みが、適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 社内検査が計画的に行われ、出来形、品質等の管理を工事全般にわたって十分に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 独自のチェックリスト等の管理基準により、日常的に管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 工事の関係書類及び資料の整理がよい。 <input type="checkbox"/> 建設業退職金共済制度(建退共)の趣旨を下請業者等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受け払い簿等により適切に把握されている。 <input type="checkbox"/> 施工体制台帳及び施工体系図を的確に整備していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由: (減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員から文書による改善指示を行った。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
評価		
a: 施工管理が優れている。 b: 施工管理が良好である。 c: 施工管理が適切である。 d: 施工管理がやや不適切である。 e: 施工管理が不適切である。		
該当項目が90%以上 該当項目が80%以上90%未満 該当項目が60%以上80%未満 該当項目が60%未満	→a →b →c →d	① ■ = 合格項目、□ = 不合格項目、- = 評価対象外項目 ※□と■は総称して評価対象項目 ② 評価対象項目のうち、対象としない項目は「□」をダブルクリック×2回で「-」にする。 ③ 評価対象外項目のある場合はこれを除外した評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 合格項目数(「■」の数) / 評価対象項目数(「□」と「■」を合わせた数)
	評価	

考査項目別運用表(建築工事)(完成)

考査項目	細別	評価対象項目
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	<input type="checkbox"/> 承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工図等が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工計画書等で出来形の管理基準を設定し、計画に基づく管理を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形の管理記録の整備が、良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 出来形の管理方法が、工夫されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場における出来形が、設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場における出来形が良好で、施工の精度が高い。 <input type="checkbox"/> 不可視部分となる出来形が、工事写真、施工記録により、確認できる。 ※解体工事については、以下の6項目を評価対象項目とする。 <input type="checkbox"/> 指定仮設の設置範囲及び仕様等が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 撤去対象物の範囲等が確認でき、処分が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 整地の範囲及び仕様等が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 分別解体等の方法等が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 各施工段階及び不可視部分の工事写真、施工記録が適切に整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 解体施工等において、管理方法を工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由： (減点)該当すればd評価とする。 <input type="checkbox"/> 出来形の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。 (減点)該当すればe評価とする。 <input type="checkbox"/> 出来形が不適切であったため、工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査職員が行った。
評価		
a: 出来形が特に優れている。	a': 出来形が優れている。	b: 出来形が特に良好である。
c: 出来形が適切である。	d: 出来形がやや不適切である。	e: 出来形が不適切である。
該当項目が90%以上	→a	① ■ = 合格項目、□ = 不合格項目、- = 評価対象外項目 ※□と■は総称して評価対象項目 ② 評価対象項目のうち、対象としない項目は「□」をダブルクリック×2回で「-」にする。 ③ 評価対象外項目のある場合はこれを除外した評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 合格項目数(「■」の数) / 評価対象項目数(「□」と「■」を合わせた数)
該当項目が80%以上90%未満	→a'	
該当項目が70%以上80%未満	→b	
該当項目が60%以上70%未満	→b'	
該当項目が50%以上60%未満	→c	
該当項目が50%未満	→d	
評価		

※1. 出来形の対象は「材料、機材」と「施工の完了したもの」であり、工事目的物の形状、寸法、位置、数量並びに管理記録と設計図書を対比することにより評価を行う。

考査項目別運用表(建築工事)(完成)

考査項目	細別	評価対象項目
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質 建築工事	<input type="checkbox"/> 材料・製品の品質が、制作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 建具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 躯体工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他の工事(躯体・内外仕上げを除く)における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 理由:
	工事比率	
評価		
a: 品質が特に優れている。 a': 品質が優れている。 b: 品質が特に良好である。 b': 品質が良好である。 c: 品質が適切である。 d: 品質がやや不適切である。 e: 品質が不適切である。		
該当項目が90%以上 → a 該当項目が80%以上90%未満 → a' 該当項目が70%以上80%未満 → b 該当項目が60%以上70%未満 → b' 該当項目が50%以上60%未満 → c 該当項目が50%未満 → d	① ■ = 合格項目、□ = 不合格項目、- = 評価対象外項目 ※□と■は総称して評価対象項目 ② 評価対象項目のうち、対象としない項目は「□」をダブルクリック×2回で「-」にする。 ③ 評価対象外項目のある場合はこれを除外した評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 合格項目数(「■」の数) / 評価対象項目数(「□」と「■」を合わせた数)	
暫定評価		評価値

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. 1つの工事の中に建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等の工種が2以上複合している工事については、原則として、それぞれの工事毎に評価し 工事費内訳による加重平均などの方法によるものとする。ただし、その工事について複合している工種のうち、規模が小さく評価に影響を与えない工種については、この限りでない。(例:改修工事等において含まれる軽微な附帯する工種)

考査項目別運用表(建築工事)(完成)

考査項目	細別	評価対象項目
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質 電気設備工事	<input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。 <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 <input type="checkbox"/> 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。 <input type="checkbox"/> その他 理由:
	受変電設備工事	
	工事比率	
評価		
a: 品質が特に優れている。 a': 品質が優れている。 b: 品質が特に良好である。 b': 品質が良好である。 c: 品質が適切である。 d: 品質がやや不適切である。 e: 品質が不適切である。		
該当項目が90%以上	→a	① ■ = 合格項目、□ = 不合格項目、- = 評価対象外項目 ※□と■は総称して評価対象項目 ② 評価対象項目のうち、対象としない項目は「□」をダブルクリック×2回で「-」にする。 ③ 評価対象外項目のある場合はこれを除外した評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 合格項目数(「■」の数) / 評価対象項目数(「□」と「■」を合わせた数)
該当項目が80%以上90%未満	→a'	
該当項目が70%以上80%未満	→b	
該当項目が60%以上70%未満	→b'	
該当項目が50%以上60%未満	→c	
該当項目が50%未満	→d	
暫定評価		評価値

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. 1つの工事の中に建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等の工種が2以上複合している工事については、原則として、それぞれの工事毎に評価し 工事費内訳による加重平均などの方法によるものとする。ただし、その工事について複合している工種のうち、規模が小さく評定に影響を与えない工種については、この限りでない。(例:改修工事等において含まれる軽微な附帯する工種)

考査項目別運用表(建築工事)(完成)

考査項目	細別	評価対象項目
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質 暖冷房衛生設備 工事 機械設備工事	<input type="checkbox"/> 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工の品質が、試験や検査等の結果の記録により、優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法が適切であり、記録の内容が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> システムの性能及び機能に関する試運転の確認方法に工夫がある。 <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 <input type="checkbox"/> 運転・点検上の表示及び危険箇所などの表示等が明確で解りやすい。 <input type="checkbox"/> その他 理由:
	工事比率	
評価		
a: 品質が特に優れている。 a': 品質が優れている。 b: 品質が特に良好である。 b': 品質が良好である。 c: 品質が適切である。 d: 品質がやや不適切である。 e: 品質が不適切である。		
該当項目が90%以上 →a 該当項目が80%以上90%未満 →a' 該当項目が70%以上80%未満 →b 該当項目が60%以上70%未満 →b' 該当項目が50%以上60%未満 →c 該当項目が50%未満 →d	① ■ = 合格項目、□ = 不合格項目、- = 評価対象外項目 ※□と■は総称して評価対象項目 ② 評価対象項目のうち、対象としない項目は「□」をダブルクリック×2回で「-」にする。 ③ 評価対象外項目のある場合はこれを除外した評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 合格項目数(「■」の数) / 評価対象項目数(「□」と「■」を合わせた数)	
暫定評価		評価値

※1. 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。

※2. 目的物の品質の水準を評価すること。

※3. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※4. 1つの工事の中に建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等の工種が2以上複合している工事については、原則として、それぞれの工事毎に評価し 工事費内訳による加重平均などの方法によるものとする。ただし、その工事について複合している工種のうち、規模が小さく評価に影響を与えない工種については、この限りでない。(例: 改修工事等において含まれる軽微な附帯する工種)

考査項目別運用表(建築工事)(完成)

考査項目	細別	評価対象項目
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅱ.品質 解体工事	<input type="checkbox"/> 建設廃棄物の処分記録の内容が、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 各施工段階ごとの施工状況が施工計画書等に基づき、適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 整地等における施工の品質が、良好であることが確認できる。
	工事比率	<input type="checkbox"/> 各施工段階ごとに施工品質確認のための工事写真、施工記録等が整備されてるものが確認できる。 <input type="checkbox"/> 解体施工等において品質確保のための工夫をしていることが確認できる。
		<input type="checkbox"/> 不可視部分が段階確認等で適切に行われていることが確認でき、写真記録等も整備されている。 <input type="checkbox"/> その他 理由:
評価		
a: 品質が特に優れている。 a': 品質が優れている。 b: 品質が特に良好である。 b': 品質が良好である。 c: 品質が適切である。 d: 品質がやや不適切である。 e: 品質が不適切である。		
該当項目が90%以上	→a	① ■ = 合格項目、□ = 不合格項目、- = 評価対象外項目 ※□と■は総称して評価対象項目 ② 評価対象項目のうち、対象としない項目は「□」をダブルクリック×2回で「-」にする。 ③ 評価対象外項目のある場合はこれを除外した評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 合格項目数(「■」の数) / 評価対象項目数(「□」と「■」を合わせた数)
該当項目が80%以上90%未満	→a'	
該当項目が70%以上80%未満	→b	
該当項目が60%以上70%未満	→b'	
該当項目が50%以上60%未満	→c	
該当項目が50%未満	→d	
暫定評価		評価値

※1. 目的物の品質の水準を評価すること。

※2. 品質の対象は、「材料、機材」と「施工が完了したもの(システムを含む)」があり、工事目的物の品質及び品質管理に関する各種の記録と設計図書を対比することにより技術的な評価を行う。

※3. 1つの工事の中に建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等の工種が2以上複合している工事については、原則として、それぞれの工事毎に評価し 工事費内訳による加重平均などの方法によってよいものとする。ただし、その工事について複合している工種のうち、規模が小さく評定に影響を与えない工種については、この限りでない。(例:改修工事等において含まれる軽微な附帯する工種)

最終評価	
------	--

最終評価値	
-------	--

$$= (1) \text{評価値} \times (1) \text{工事比率} + (2) \text{評価値} \times (2) \text{工事比率} + (3) \text{評価値} \times (3) \text{工事比率} + (4) \text{評価値} \times (4) \text{工事比率}$$

該当項目が90%以上	→a
該当項目が80%以上90%未満	→a'
該当項目が70%以上80%未満	→b
該当項目が60%以上70%未満	→b'
該当項目が50%以上60%未満	→c
該当項目が50%未満	→d

(減点)建築工事・電気設備等工事・暖冷房衛生設備等工事・解体工事のうち、いずれか1つでも該当すればd評価とする。

品質の管理に関して、監督職員が文書で指示を行い改善された。

(減点)建築工事・電気設備等工事・暖冷房衛生設備等工事・解体工事のうち、いずれか1つでも該当すればe評価とする。

品質が不適切であったため、工事請負契約書第31条に基づく修補指示を検査職員が行った。

考査項目別運用表(建築工事)(完成)

考査項目	細別	評価対象項目
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ 建築工事	<input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 関連工事(工種)又は、既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 <input type="checkbox"/> 使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。 <input type="checkbox"/> 仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。
	工事比率	<input type="checkbox"/> 色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。 <input type="checkbox"/> 材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。
		<input type="checkbox"/> 保全に配慮した施工がなされている。 <input type="checkbox"/> その他 理由:
評価		
a: 全体的な完成度が優れている。 b: 全体的な完成度が良好である。 c: 全体的な完成度が適切である。 d: 全体的な完成度が劣っている。		
該当項目が90%以上 →a 該当項目が80%以上90%未満 →b 該当項目が80%未満 →c	① ■ = 合格項目、□ = 不合格項目、- = 評価対象外項目 ※□と■は総称して評価対象項目 ② 評価対象項目のうち、対象としない項目は「□」をダブルクリック×2回で「-」にする。 ③ 評価対象外項目のある場合はこれを除外した評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 合格項目数(「■」の数) / 評価対象項目数(「□」と「■」を合わせた数)	
暫定評価		評価値

- ※1. 全体的な仕上がりの状態、機能を評価する。
- ※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がりの状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。
- ※3. 1つの工事の中に建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等の工種が2以上複合している工事については、原則として、それぞれの工事毎に評価し 工事費内訳による加重平均などの方法によるものとする。ただし、その工事について複合している工種のうち、規模が小さく評定に影響を与えない工種については、この限りでない。(例: 改修工事等において含まれる軽微な附帯する工種)

考査項目別運用表(建築工事)(完成)

考査項目	細別	評価対象項目
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	<input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 <input type="checkbox"/> 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 <input type="checkbox"/> 環境負荷低減への対策が優れている。 <input type="checkbox"/> 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> その他 理由:
	電気設備工事 受変電設備工事	
	工事比率	
評価		
a: 全体的な完成度が優れている。 b: 全体的な完成度が良好である。 c: 全体的な完成度が適切である。 d: 全体的な完成度が劣っている。		
該当項目が90%以上 →a 該当項目が80%以上90%未満 →b 該当項目が80%未満 →c		① ■ = 合格項目、□ = 不合格項目、- = 評価対象外項目 ※□と■は総称して評価対象項目 ② 評価対象項目のうち、対象としない項目は「□」をダブルクリック×2回で「-」にする。 ③ 評価対象外項目のある場合はこれを除外した評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 合格項目数(「■」の数) / 評価対象項目数(「□」と「■」を合わせた数)
暫定評価		評価値

※1. 全体的な仕上がりの状態、機能を評価する。

※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がりの状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。

※3. 1つの工事の中に建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等の工種が2以上複合している工事については、原則として、それぞれの工事毎に評価し 工事費内訳による加重平均などの方法によるものとする。ただし、その工事について複合している工種のうち、規模が小さく評定に影響を与えない工種については、この限りでない。(例:改修工事等において含まれる軽微な附帯する工種)

考査項目別運用表(建築工事)(完成)

考査項目	細別	評価対象項目
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ	<input type="checkbox"/> きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 <input type="checkbox"/> 機器又はシステムとして、運転状態が正常であり、性能が優れている。 <input type="checkbox"/> 環境負荷低減への対策が優れている。 <input type="checkbox"/> 運転操作及び保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> その他 理由:
	暖冷房衛生設備 工事 機械設備工事	
	工事比率	
評価		
a: 全体的な完成度が優れている。 b: 全体的な完成度が良好である。 c: 全体的な完成度が適切である。 d: 全体的な完成度が劣っている。		
該当項目が90%以上 →a 該当項目が80%以上90%未満 →b 該当項目が80%未満 →c		① ■ = 合格項目、□ = 不合格項目、- = 評価対象外項目 ※□と■は総称して評価対象項目 ② 評価対象項目のうち、対象としない項目は「□」をダブルクリック×2回で「-」にする。 ③ 評価対象外項目のある場合はこれを除外した評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 合格項目数(「■」の数) / 評価対象項目数(「□」と「■」を合わせた数)
暫定評価		評価値

- ※1. 機械設備工事とは、エレベーター、エスカレーター設備工事等の建設業法における機械器具設置工事をいう。
- ※2. 全体的な仕上がり状態、機能の評価する。
- ※3. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がりの状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。
- ※4. 1つの工事の中に建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等の工種が2以上複合している工事については、原則として、それぞれの工事毎に評価し 工事費内訳による加重平均などの方法によるものとする。ただし、その工事について複合している工種のうち、規模が小さく評定に影響を与えない工種については、この限りでない。(例: 改修工事等において含まれる軽微な附帯する工種)

考査項目別運用表(建築工事)(完成)

考査項目	細別	評価対象項目
3. 出来形及び出来ばえ	Ⅲ. 出来ばえ 解体工事	<input type="checkbox"/> 解体後の土地の雨水排水等にきめ細やかな配慮がなされて、解体後の整地の状態が良い。 <input type="checkbox"/> 関連工事(工種)又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりである。 <input type="checkbox"/> 跡地の利用者の安全に対する配慮に優れている。 <input type="checkbox"/> 周辺の状況を配慮し、調和した仕上がり状況である。 <input type="checkbox"/> 隣接する住居等への配慮が良い。 <input type="checkbox"/> その他 理由:
	工事比率	
評価		
a: 全体的な完成度が優れている。 b: 全体的な完成度が良好である。 c: 全体的な完成度が適切である。 d: 全体的な完成度が劣っている。		
該当項目が90%以上	→a	① ■ = 合格項目、□ = 不合格項目、- = 評価対象外項目 ※□と■は総称して評価対象項目 ② 評価対象項目のうち、対象としない項目は「□」をダブルクリック×2回で「-」にする。 ③ 評価対象外項目のある場合はこれを除外した評価対象項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 ④ 評価値(%) = 合格項目数(「■」の数) / 評価対象項目数(「□」と「■」を合わせた数)
該当項目が80%以上90%未満	→b	
該当項目が80%未満	→c	
暫定評価		評価値

※1. 全体的な仕上がりの状態、機能を評価する。

※2. 出来ばえの評価は、全体的な仕上がりの状態、形状、配置及び関連工事との調和、目的物としての機能などについて、観察、計測等により技術的な評価を行う。

※3. 1つの工事の中に建築工事・電気設備工事・暖冷房衛生設備工事等の工種が2以上複合している工事については、原則として、それぞれの工事毎に評価し 工事費内訳による加重平均などの方法によるものとする。ただし、その工事について複合している工種のうち、規模が小さく評定に影響を与えない工種については、この限りでない。(例:改修工事等において含まれる軽微な附帯する工種)

最終評価	
------	--

最終評価値	
-------	--

$$= (1) \text{評価値} \times (1) \text{工事比率} + (2) \text{評価値} \times (2) \text{工事比率} + (3) \text{評価値} \times (3) \text{工事比率} + (4) \text{評価値} \times (4) \text{工事比率}$$

該当項目が90%以上 →a
 該当項目が80%以上90%未満 →b
 該当項目が80%未満 →c

(減点)建築工事・電気設備等工事・暖冷房衛生設備等工事・解体工事のうち、いずれか1つでも該当すればd評価とする。

□ 出来ばえが劣っている。